

<報道発表資料>

令和7年12月25日
京都市右京区役所保健福祉センター
地域力推進室

「共に描く未来～アートが紡ぐ私の居場所～」 口と足で描く芸術家作品展の開催

右京区役所では、困難を抱える方々が地域社会で「居場所」と「出番」を確保できるよう、区役所が Hub として障害者支援団体や地域団体と一緒に、重層的な支援に取り組むとともに、地域ぐるみの包括的支援体制を推進しています。

この度、芸術作品の展示を通じて、市民の皆様に、障害のある方々の創作活動について理解と共感を深めていただくことを目的として、京都市では初の展示会となる「口と足で描く芸術家作品展」を開催します。

また、同時期に「右京区民美術展」も開催しています。

【開催概要】

- 日時 令和8年2月14日（土）から2月19日（木）まで
午前8時から午後9時まで
*土日は午前8時30分から午後9時まで
*19日は午後4時まで
- 場所 サンサ右京（右京区役所）1階区民ロビー
- 内容
 - ・「口と足で描く芸術家」作品の展示
 - ・重層的支援について地域団体、行政による取組紹介

入場無料
*本作品展で展示する作品は、2月25日（水）・26日（木）に常磐野小学校でも展示します。（一般の方の鑑賞は、両日ともに午前10時から正午、午後1時から午後3時までです。）
- 運営 主催：口と足で描く芸術家協会
共催：右京区社会福祉協議会、右京区民生児童委員会、右京区役所

<口と足で描く芸術家協会について>

事故や病気などのために、両手が使えなくなってしまった障害者が、自立を目指して、車椅子やベッドの上で口や足に筆をとり、絵を描く画家のグループです。

1956年にヨーロッパで始まり、2025年現在、世界69の国や地域に約740名の口と足で描く芸術家がいます。

日本でも1961年から始まり、全国各地で展覧会を開催するとともに、学校においても活動を行っています。

<重層的支援体制について>

高齢、障害、子ども、生活困窮など従来の分野・属性別の支援体制では対応が困難な地域住民の複雑化・複合化した福祉課題や支援ニーズにきめ細やかに対応するため、既存の支援体制や取組をいかしながら、分野・属性を問わない「相談支援」、社会とのつながりや参加を支援する「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施するものです。

<右京区民美術展について>

- ・日時 令和8年2月13日（金）から2月16日（月）まで
午前10時から午後5時まで
*ただし、13日は午後1時から。16日は午後3時まで
- ・場所 サンサ右京（右京区役所）5階 大会議室
- ・内容 右京区内のアマチュアの方による作品を展示する公募美術展（入場無料）
- ・運営 主催：右京区民文化普及会、右京区役所

<お問合せ先>

（口と足で描く芸術家作品展）

右京区役所健康長寿推進課 地域支援担当

電話：075-861-1404

（右京区民美術展）

右京区役所地域力推進室 まちづくり担当

電話：075-861-1264